

令和4年第9回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和4年9月16日（金） 午後1時00分

2 招集場所 大河原町役場 第一会議室

3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、小山明子委員、鈴木洋教育長

4 説明のため出席した者

佐藤勝弘 教育総務課長、木村武俊 生涯学習課長、山家一博 学校教育専門監、

5 開 会 午後1時00分

6 令和4年第8回教育委員会定例会会議録の承認について

鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。

一盃森委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告

報告第9号 教育委員会教育長の任命に係る議会の同意について

報告第10号 教育委員会委員の任命に係る議会の同意について

報告第11号 令和4年第3回大河原町議会定例会（9月会議）の結果について

教育総務課長、生涯学習課長より説明。

丹羽委員 | P32 大沼常次議員の質問。中学校の先生方の時間外勤務が多い。何か対策がないか。

鈴木教育長 | 部活動の地域移行問題。今後、まずは土日の部活動を移行させる。これから検討が必要。働き方改革の一つとして取り組んでいく。

丹羽委員 | 家庭持ちの先生が部活動で家庭を犠牲にしてほしくない。部活動地域移行だが、生徒の事故なども注意して取り組む必要がある。

一盃森委員 | 地域移行にあたり、受け皿の問題で総合型地域スポーツクラブも受け皿の一つに考えが入っているか。

木村生涯学習課長 | 総合型地域スポーツクラブはスポーツ振興アカデミーの業務の一つとして準備を進めている。今後、部活動の地域移行も人材を考えながら進める。

鈴木教育長 | 岩沼市は民間委託。経費が多くかかる。民間委託か町直営など、わが町に合う方向を探す。総合的に判断していく。

舟 山 委 員	教員がスポーツクラブの立場で指導したいというのが出てくるのか。
鈴木教育長	スポーツ庁でも、教員も届出を行えば可能と言っている。地域に人材がいるのかが非常に難しい問題。兼業兼職で指導可能である。
舟 山 委 員	部活動に情熱を持っている教員もいるので、安心した。
丹 羽 委 員	部活動を外部委託するにしても、指導の工夫が必要。
小 山 委 員	カバンの重さの質問。自分たちで工夫が必要。自転車通学もタイヤがつぶれそうになっている。学校・家庭で呼びかける。必要な物を持ち帰る。
一 盃 森 委 員	中学校の部活動。やはり受け皿があることが大事。しかし、100%外部委託は無理がある。

(2) 専決事務報告

報告第4号 専決処分の報告について

(損害賠償の額及び和解)

(令和4年度大河原町一般会計補正予算(第6号))

教育総務課長、生涯学習課長より説明。

一 盃 森 委 員	金小祭。えずこホールで開催できて良かった。体育館はいつ使用できるのか。
佐藤教育総務課長	現在の経済状況により、なかなか見積りが出ない状況。国の査定もあるが、ようやく予定が立てられる状況となり、10月末に査定の予定。
舟 山 委 員	体育の授業はどのようにしているのか。
佐藤教育総務課長	体育の授業は、金ヶ瀬公民館の大ホールを使用。天気の良い日は校庭で。

8 議 事

議案第30号 大河原町教育振興基本計画策定委員会委員の委嘱について

(教育総務課長より説明)

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 可決する。

9 その他

(1) 教育長報告(校長会資料による報告)

1 「つながりを大切に」(白井健三)

体操から道徳を学んだ話。体操は人とぶつかる競技ではなく、お互いを認め合う競技。人のいいところを見つけることは体操から学んだ。人とつながっているからこそ、いろいろな失敗をして、いろいろなことを学べる。

2 『私の校長学』（菱村幸彦）

「教師像二題」と「学校事故」。「教育の善し悪しは、結局、教師次第。百の教育施策より一人の教師」と言い切る。このような先生がいれば、一人も見逃さず子供達を見れると思う。

「学校事故」では、事故対応の3点を挙げている。学校事故はいつ起こるか分からない。各校長には読んでいただき、どのように動くか把握してほしい。

3 「トラブルを受けとめる管理職の覚悟」（渡辺秀貴）

保護者に寄り添った対応が必要である。

4 特別な配慮を必要とする子供への指導—不登校児童への配慮—（文部科学省）

本町の不登校児童生徒への必要な対策を説明。やはり、家庭訪問の大事さ。勉強遅れに対応した学習保障。このような対応が大事。

5 小学校国語における学力向上

対話的な学び、対話的な授業が必要であり大事。

6 算数の授業理論

(1) これまでの「個に応じた指導」を振り返る（笠井健一）

学力の低位、高位の対応だけでなく、障害のある児童への対応と、個に応じた指導の重要性が分かる。

(2) 割合研究の第一歩（市川啓）

「割合」の学習は、中学校における関数の学習に直結する意味でも重要な内容である。

(3) 算数科において協働的に問題解決するために（笠井健一）

算数・数学は知識技能を獲得するだけでなく、人間関係まで含んだ授業づくりが大事である。相手を尊重する。授業の中で作り上げていくことが大事。みんなで一つの課題を解決する場面がある。授業に活かしてほしい。

7 教職員の事故防止（風通しのよい職場づくり）他人事ではなく他山の石として

8 生徒指導

9 人事異動等について

10 その他

資料に基づき要点説明。

舟山委員	仙台大学との連携事業。ジャベボールとは何か。
鈴木教育長	楕円形のボールに羽がついているもの。正しいフォームできちんと投げないと飛ばないようにしている。
山家専門官	大河原小学校で既に実施しており、成果が出ている。
丹羽委員	8ページ。教師像の話。先生が先生でいられるのは生徒がいるおかげである。生徒一人一人を愛せる教師でなければならない。
小山委員	笠井先生の話。分からない子を大切にできる心。分からない子供を見逃さないのが大事。不登校やいじめが減ると思う。
	不登校児童への配慮。コロナの関係でリモート授業が増えている。オンライン授業により不登校児童の学びの保障のため、1人でも学び探究心を育てられたら良いと思う。
丹羽委員	不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮する。とても大事である。先生は、その子に合った教育を考えてあげるのが大事。
一盃森委員	指導主事訪問の話。共通してイメージできる指導が大事。子供が理解できるように考えて地道に作業する授業づくりが大切。
舟山委員	国語の学力向上の話。小学校では、物語文と比較し説明文の正答率が低くなっているとあるが、関係性などを整理し頭で描けるような指導が大事。
一盃森委員	大中プロジェクトMASによる避難所開設訓練の話。地域の皆さんが協働の作業で取り組んでいる。とても嬉しく思う。

(2) 各課長報告

教育総務課長、生涯学習課長

行事予定について説明。

10 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回の定例教育委員会は令和4年10月21日（金）午後2時から開催する。

11 閉会宣言 午後3時00分

令和4年10月21日

署名委員

署名委員